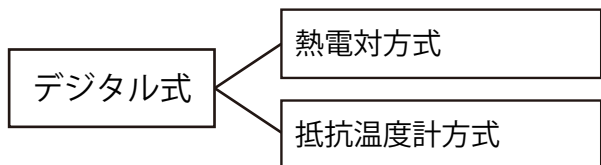


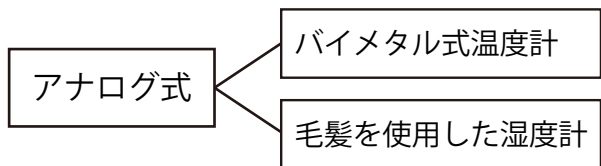


記録温湿度計

種類



温度検知とセラミックや吸湿性の高分子膜を用いたセンサーを使用しています



組み合わせたものが主流

温度計や湿度計は各分野で多く使用され、代表的なところでは美術館に多く使用されています。また、図書館やビニールハウスにも使用されます。

温度

摂氏 (°C)

*標準気圧での水の凝固点・沸点をそれぞれ0度・100度としてその間を100等分して定めた温度目盛り。
*1気圧 1013.250hpa(ヘクトパスカル)
世界的にも、この単位で統一する流れ。

華氏 (°F)

標準気圧での水の凝固点・沸点をそれぞれ32度・212度としています。

アメリカや一部の英語圏で使われている温度の単位。

今月の表示説明

変換してみよう

F → °C

30 を引いて 2 で割る

$$^{\circ}\text{C} = (^{\circ}\text{F} - 30) \div 2 \quad [\text{正確には } ^{\circ}\text{C} = (5 \div 9) \times (^{\circ}\text{F} - 32)]$$

ex. 90°F の場合は 30°C (正確には 32.2°C)



100°F

50°F

10°F

35°C

10°C

-10°C



ロガー付グローブ温度計
PGT-02



WBGTを求める為に必要とされる黒球温度を測定します。黒球温度の測定とロギングが可能、ロガー自体に温度を表示します。直径約の15cm銅製の球の表面に黒のつや消しを塗装した温度計で球の中心に温度計を内蔵しています。

ポケットサイズ温湿度計
HN-CHNR



オフィス、レストラン、冷蔵庫、ビニールハウスで使用されます。同じ空間でも位置の違いによる温湿度の差を記録して比較したい書庫、美術品、ヴァイオリンなど楽器保管ケースでも使用されます。温度と湿度を最大各8000データメモリ可能です。

コンパクト温湿度ロガー
Testo175H1



オフィス、レストラン、冷蔵庫、ビニールハウスで使用されます。同じ空間でも位置の違いによる温湿度の差を記録して比較したい書庫、美術品、ヴァイオリンなど楽器保管ケースでも使用されます。記録時間を設定することで最大3年使用可能(15分間隔、25度環境)乾電池を使用します。

記録温度計 OT-102
(±40℃/ゼンマイ)



寒冷地での使用を目的とし、記録部分がゼンマイで稼働します。

寒冷地用自記温度計
1-111Q±40℃(乾電池)



寒冷地での使用を目的とし、受感部にバイメタルを使用しています。記録がアナログ式(デジタルでない)-40度で使用する場合はリチウム電池を使用します。(アルカリ電池は-5度程度までしか使えないため)

温湿度記録計 シグマII型



書庫、美術品、ビニールハウスなどに使用されます。アナログ記録計、湿度は西洋女性の金髪や茶髪が使用されています。(髪が空気の湿り具合によって伸縮するのを利用)



栗ごはんが食べたい!

M.T